

令和 2 年度
施政方針及び当初予算提案説明

令和 2 年 2 月 2 1 日

桶川市

令和2年桶川市議会第1回定例会の開会に当たりまして、新年度に臨む私の市政運営に関する基本的な考え方並びに令和2年度予算案及び主要施策の概要を御説明申し上げます。

【 はじめに 】

市民の皆様から信託を頂き、市政2期目の重責を担わせていただいております。早いもので4年目を迎えようとしております。この間、多くの市民や議会の皆様の御指導、御協力を頂きながら、職員と一丸となって全力でまちづくりに取り組んでまいりました。

長年の悲願でありました市役所新庁舎の開庁や、城山公園のバーベキュー広場のオープン、また、官民連携手法により整備した坂田コミュニティセンターの開設など、市民の皆様の利便性の向上が図られ、にぎわいの創出につなげることができました。

これらの事業に加えまして、こども医療費の対象年齢の18歳までの拡大や放課後児童クラブにおける待機児童対策として、朝日、桶川西、川田谷、桶川東の定員の拡充など子育て支援の充実を図りながら、全小中学校のトイレ改修を平成29年度から集中的に実施し、教育環境の整備に努めてまいりました。さらに、駅東口エレベーターの設置や西側大通り線の開通など、安心安全で利便性の高いまちづくりに取り組むことができました。

令和2年度は、「桶川飛行学校平和祈念館」のオープンのほか駅東口整備事業や道の駅整備事業など新たな時代に向けたまちづくりを着実に進めてまいります。

また、これまで広域で進めてきたごみ焼却施設の建設に向けた9市町村からなる一部事務組合が解散となりますことから、今後は、桶川市のごみ行政の在り方について、慎重かつスピード感をもって検討してまいります。

当市の財政状況につきましては、社会保障経費や市債の償還などの義務的経費や施設の更新に係る経費などが今後も増大していく見込みで、大変厳しい時代を迎えております。しかしながら、将来を見据えた持続

可能なまちづくりを進めて行く上で、取り組まなければならない課題は多く、厳しい財政状況にあっても事業を計画的に推進することが求められております。

今後の市政の運営に当たりましては、引き続き職員と一丸となり、夢と希望を未来へつなぐまちづくりに努めてまいりますので、議員各位並びに、市民の皆様の御理解と御協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

【 市政運営に対する基本的な考え方 】

それでは、市政運営に関する基本的な考え方につきまして、順次申し上げます。

令和2年度の市政の運営に当たりましては、厳しい財政運営が見込まれる状況にあっても、「桶川市第五次総合振興計画」の実現と、「夢と希望を未来へつなぐまちづくり」の推進に向け、必要な施策をスピード感を持って展開していかなければなりません。

また、「桶川市人口ビジョン」に掲げる将来目標人口の実現に向け、効果的な施策の実施・展開が求められております。

そのため、当初予算の編成に当たりましては、中長期的な施策展開を見据え5つの重点分野として「安心安全で利便性の高いまちづくりの推進」、「こどもが輝き、安心して子育てができるまちづくりの推進」、「高齢者が健康でいきいきと暮らせるまちづくりの推進」、「にぎわいや活力に満ちあふれる元気なまちづくりの推進」そして「新たな時代に向けたまちづくりの推進」を位置付け、優先的に予算措置を講じるものでございます。

それでは、5つの分野の主な事業について御説明申し上げます。

はじめに、「安心安全で利便性の高いまちづくりの推進」でございます。

市民の安全を確保するため、上日出谷南2号調整池や防災行政無線の整備など、災害に対して安心で安全な基盤づくりに取り組んでまいります。また、交通の利便性と安全性の向上を図るため、令和2年度の供用開始に向けた坂田寿線整備事業や、坂田地区の生活道路におけるゾーン

30事業に取り組んでまいります。さらに、高齢者等交通弱者の移動手段の確保や利用者の利便性の向上を図るため、令和元年度にルート見直しを行った市内循環バスの試験運行を実施するなど、安心安全で利便性の高いまちづくりを推進してまいります。

次に、「こどもが輝き、安心して子育てができるまちづくりの推進」でございます。

子育てを支援するため、こども家庭総合支援拠点を子ども未来課窓口に新たに設置するとともに、保育士確保のための民間保育所等に対する補助金を交付するなど、安心して子育てができる環境づくりに取り組んでまいります。また、放課後児童クラブにおきましては、桶川東放課後児童クラブの老朽化及び待機児童対策として、本室の建て替えを行ってまいります。さらに、小中学校におきましては、令和2年度の全校完了を目指し、日出谷小学校、桶川中学校、加納中学校のトイレ改修等を行うとともに、桶川東小学校、桶川西中学校、加納中学校において、「地域とともにある学校づくり」を目指したコミュニティ・スクールを開始し、こどもが輝き、安心して子育てができるまちづくりを推進してまいります。

次に、「高齢者が健康でいきいきと暮らせるまちづくりの推進」でございます。

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活ができるよう支援するため、居宅サービス利用軽減事業、高齢者安心ネットワーク事業、緊急通報システム事業、地域ふれあい事業、地域支え合い事業、高齢者等おむつ助成事業など、様々な在宅福祉サービス事業を引き続き実施してまいります。

また、健康づくりや介護予防を図るため、オケちゃん健康体操や健康長寿いきいきポイント事業など、これまで実施してきた各種事業の取組を引き続き進めるとともに、新たに「認知症ケア相談室」を設置し、相談支援にも取り組むなど、高齢者が健康でいきいきと暮らせるまちづくりを推進してまいります。

次に、「にぎわいや活力に満ちあふれる元気なまちづくりの推進」でございます。

令和2年11月3日に市制施行50周年を迎えるに当たり、記念式典を行い、また、戦後75年を迎える節目となる夏に、「桶川飛行学校平和祈念館」の開館記念式典を行います。さらに、7月9日に中山道を通る東京2020オリンピック競技大会の聖火リレーや11月に行われる埼玉県レクリエーション大会が当市で開催されることから、そうしたイベントを通じて桶川市の魅力を発信し、にぎわいや活力に満ちあふれる元気なまちづくりを推進してまいります。

次に、「新たな時代に向けたまちづくりの推進」でございます。

「桶川市第五次総合振興計画」につきましては、令和2年度で計画期間が満了となるため、国連サミットで採択された持続可能な開発目標であるSDGsの理念も踏まえた次期計画の策定を行います。また、駅東口整備事業につきましては、駅前広場の詳細設計を実施するとともに、道の駅推進事業につきましては、整備事業者の選定を行い、国と連携を図りながら事業を推進してまいります。さらには、加納や川田谷の圏央道IC周辺地区につきましては、引き続き企業誘致を進めるなど、新たな時代に向けたまちづくりを推進してまいります。

【財政環境と予算編成の基本的な考え方】

続きまして、市政を取り巻く財政環境と令和2年度予算編成に当たりましての基本的な考え方を申し上げます。

先頃内閣府が発表した経済見通しによりますと、令和2年度は「安心と成長の未来を拓く総合経済対策」を円滑かつ着実に実施するなど、各種政策の効果もあいまって、我が国経済は、雇用・所得環境の改善が続き、経済の好循環が進展する中で、内需を中心とした景気回復が見込まれるとされ、この結果、国内総生産の実質成長率は1.4%程度、名目成長率は2.1%程度とのことであります。こうした状況において編成された国の令和2年度一般会計予算案は、前年度比1.2%増の102兆6,580億円となり2年連続で100兆円を超えました。

地方自治体の予算編成の指針となる地方財政計画においては、地方が地方創生等の重要課題に取り組みつつ、安定的に財政運営を行うことができるよう、一般財源総額は、前年度を上回る額が確保されたところで

す。歳入につきましては、地方譲与税が減少する一方で、地方税が増加するとともに、2年連続で地方交付税が増加いたしました。また、歳出につきましては、地方が地域社会の維持・再生に向けた幅広い施策に自主的・主体的に取り組むため、地域社会再生事業費の新たな計上や、防災・減災対策を推進するため、緊急防災・減災事業を拡充するなど、地方財政計画の規模は前年度より1.3%増の90兆7,400億円程度とされたところでございます。

このような社会情勢の中、本市におきましては、歳入の根幹をなす市税収入は前年度比較で0.3%の増額を見込んでいるところでございます。一方で、歳出につきましては、高齢化等を背景として急激に増加する社会保障経費や高度経済成長期に整備された公共施設の維持改修や更新に要する経費の増加など、行政需要の増大により極めて厳しい財政状況にあります。

こうした状況にあっても、「夢と希望を未来へつなぐまちづくり」を推進するため、将来への投資を行いつつ、こどもから高齢者まで多くの方々が安心して生活を送ることができるよう、必要な予算措置を講じたところでございます。

【 令和2年度予算案の概要 】

令和2年度の予算案は、これまで申し上げました考え方に立って編成いたしましたもので、その規模は、

一 般 会 計	246億 600万円	(前年度比 2.3%増)
国民健康保険特別会計	73億7,300万円	(前年度比 1.8%減)
介護保険特別会計	56億7,000万円	(前年度比 5.7%増)
後期高齢者医療特別会計	11億2,900万円	(前年度比 5.4%増)
公共下水道事業会計	14億2,886万8千円	(前年度比 1.6%減)

となりました。

それでは、一般会計予算案の概要につきまして御説明申し上げます。
はじめに、歳入でございます。

市税につきましては、令和元年度の決算見込みや経済動向などを参考に、前年度比0.3%増の103億5,972万9千円を計上しております。

地方譲与税や利子割交付金から環境性能割交付金までの県税交付金につきましては、国から示される地方財政計画や過去の実績を勘案しそれぞれ計上いたしました。

なお、法人事業税交付金につきましては、税制改正により法人事業税の一部が都道府県から市町村に交付されるため、新たに4,000万円を計上しております。

地方特例交付金につきましては、幼児教育無償化に係る経費について地方負担分の臨時的措置が令和元年度で終了するため、前年度比47.7%減の8,000万円を計上しております。

市税に次いで大きな一般財源であります地方交付税につきましては、令和元年度の決算見込額をベースに、地方財政計画を参考といたしまして、前年度比8.5%増の21億8,000万円を計上いたしました。

分担金及び負担金、使用料及び手数料につきましては、幼児教育の無償化により民間保育所保育料と公立保育所使用料が無償となったため、それぞれ減額して計上いたしました。

国庫支出金につきましては、学校施設環境改善交付金の皆増などに伴いまして、前年度比15.4%増の40億5,667万5千円を計上いたしました。

県支出金につきましては、県道整備事業委託金などの増額に伴いまして、前年度比13.5%増の17億4,316万8千円を計上いたしました。

繰入金につきましては、財政調整基金繰入金の減額に伴いまして、前年度比28.3%減の11億2,235万円を計上いたしました。

市債につきましては、旧飛行学校整備事業債や防災行政無線整備事業債などの減額により、前年度比7.6%減の22億1,980万円を計上いたしました。なお、地方交付税の代替であります臨時財政対策債は、地方財政計画などを参考といたしまして、前年度比4.4%減の8億7,000万円と見込んでおります。また、普通建設事業に充当しますその他の市債につきましては、後年度の財政負担に留意しながら、見込み得る額をそれぞれ計上いたしました。

次に、歳出につきましては、「桶川市第五次総合振興計画」における施策の体系に沿って、当初予算案における主要事業の概要を御説明申し上げます。

1 だれもが主役の桶川をつくる 【参画・協働】

市民と市が協働してまちづくりを推進するため、桶川市協働推進条例に基づき、市民の参画による更なる協働の推進と、だれもが主役の桶川のまちづくりに取り組んでまいります。

はじめに、桶川市市民活動サポートセンターにおきましては、NPOやボランティア活動の支援を行い、昨年4月に開館した坂田コミュニティセンターにつきましては、市民の交流や活動の場として活用し、コミュニティの醸成を図ってまいります。また、町会・自治会活動等につきましては、補助金の交付や相談事業を実施し、引き続き地域の自主的な活動を支援してまいります。

次に、男女共同参画の推進につきましては、「第四次桶川市男女共同参画基本計画」を着実に推進するため、市民や関係機関との連携を図りながら、審議会等への女性の積極的な参画の推進や男女共同参画コーナー「アソシエ」の利用促進を図り、計画の将来像である「だれもが多様な生き方を認め合い^{ひと}男女がかがやくまち おけがわ」の実現を目指してまいります。

2 生きる力を育み次代に繋げる桶川をつくる

【教育・文化】

次の時代の担い手である小さな子どもや高齢者まで、あらゆる世代が生きる力を育み、次代に繋げる桶川を創るため、教育や文化・芸術、生涯学習・生涯スポーツの振興・充実に努めてまいります。また、小・中学校の教育につきましては、児童生徒が「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」を身につけ、「生きる力」を育むことを目指した教育の更なる充実に力を入れてまいります。

はじめに、児童生徒の衛生面や安全面の改善につきましては、「桶川市学校施設老朽化対策基本計画」に基づき、平成29年度から実施してまいりましたトイレ等改修工事を日出谷小学校、桶川中学校及び加納中学校で実施し、これにより市内11校全ての小中学校トイレ改修が完了いたします。

次に、中学校のプール授業につきましては、生徒の水泳技術の向上や長期的なプール維持管理経費の削減及び安定的な授業実施を目指して、民間事業者の施設を利用した授業を試行的に実施してまいります。

次に、学校給食費の公会計制度化につきましては、学校給食費の管理におけるより高い会計の透明性の確保を図るとともに、教職員の負担軽減を図るため、2学期より実施してまいります。

次に、コミュニティ・スクール事業につきましては、令和元年度に開始した加納小学校、川田谷小学校に加え、新たに桶川東小学校、桶川西中学校、加納中学校に「学校運営協議会」を設置して「コミュニティ・スクール」を開始し、学校と地域・保護者が連携・協働した「地域とともにある学校づくり」を目指してまいります。

次に、東京2020聖火リレー事業につきましては、東京オリンピック・パラリンピックの開催に際して、中山道を聖火が通過することを通して、多くの市民にオリンピック・パラリンピックの機運を高めるとともに、生涯スポーツの更なる推進を図ってま

います。

また、埼玉県レクリエーション大会につきましては、毎年県内の自治体を会場として開催されている大会が、令和2年度は本市で開催され、レクリエーション関係団体による種目別交歓会や講習会などが、市内の公共施設で行われます。

次に、文化芸術の振興につきましては、市役所市民ギャラリーの活用や、市民の手づくりによる「おけがわ市民芸術文化祭」の開催等、自主的で独創的な文化活動への支援をしております。

また、文化財の保存・活用につきましては、本市の優れた文化財を次代へと引き継ぐために、調査・指定などの保護施策及び文化財保護の啓発を行うとともに、新たに国の登録有形文化財建造物となった「島村老茶舗」をはじめ、市内に存する文化財の積極的な活用を図っております。

3 共に支え合いいきいきと暮らせる桶川をつくる

【健康・福祉】

桶川市で生活する誰もが、日々を安心していきいきと暮らすことのできる基盤を作るため、健康づくりへの支援、保健・医療体制の充実、子育て支援、高齢者の介護予防、障害のある人の生活支援の充実など、住み慣れた地域で共に支え合い、住み続けることができるまちづくりを進めてまいります。

はじめに、子育て支援の充実につきましては、子ども未来課窓口「子ども家庭総合支援拠点」を新たに設置し、子どもとその家庭等の子育てに関する相談や適切な支援並びに児童虐待対応における相談支援の体制及び専門性の強化を図るため、子ども家庭支援員や虐待対応専門員を配置し、安心して子育てができる環境づくりを進めてまいります。

さらに、子育て世代の経済的負担の軽減とインフルエンザ感染予防及び重症化を防ぐため、1歳から4歳未満の子どもがインフルエンザ予防接種を受ける際の費用の一部を助成してまいります。

次に、保育所につきましては、保育を支える保育士の確保策として、民間保育所等が保育士の宿舎を借り上げるための費用の一部を補助し、働きやすい環境の整備を行い、就業継続及び離職防止を図ってまいります。

次に、放課後児童クラブにつきましては、待機児童対策としまして、桶川東放課後児童クラブの受入児童数の拡大を図るため、本室の建替工事等を実施し、令和3年度の開室を目指してまいります。

次に、高齢者の認知症施策につきましては、認知症検診を実施するとともに、平成29年に設置された認知症初期集中支援チームにおいて、引き続き認知症の方や認知症が疑われる方に対する認知症の早期発見、早期治療を図るための支援をしてまいります。また、新たに「認知症ケア相談室」を認知症初期集中支援チーム内に設置し、認知症ケアに関することや介護技術のアドバイスなどの相談支援にも取り組んでまいります。

次に、介護保険サービスにつきましては、介護予防・生活支援サービス事業を充実させ、一般介護予防事業としては、住民運営による通いの場づくりを支援するため、引き続きリハビリテーション専門職の派遣や運営費等の補助などを実施してまいります。

次に、障害者福祉につきましては、災害発生時、聴覚に障害のある方が必要な支援を求めていることを周知するために身に着けるバンダナを作成し、聴覚障害者の理解及び手話の普及啓発活動の充実に努めてまいります。

また、上尾市と伊奈町との共同により「基幹相談支援センター」を新たに設置し相談体制の充実を図ることで、障害のある方が住み慣れた地域で自立した生活が営めるよう支援してまいります。

次に、生活困窮者自立支援につきましては、安心して暮らせる社会を作るために引き続き事業を実施してまいります。また、自立に向けた生活支援につきましては、保護世帯の生活相談及び就労支援、更には健康管理支援の充実を図り、保護からの早期自立に向けて支援してまいります。

4 環境にやさしく安心・安全に住み続けられる

桶川をつくる

【市民生活】

地球温暖化など深刻化する環境問題に配慮した、省エネルギーやごみの減量化に努めるライフスタイルを推進し、誰もが快適に暮らすことができるまちづくりを推進してまいります。また、防災力・防犯力の向上や交通安全対策の充実を図り、市民一人ひとりの生命と財産が守られ、安心・安全な生活環境を確保することにより、心穏やかに暮らせるまちづくりを推進してまいります。

はじめに、地球温暖化対策につきましては、環境への負荷の少ないクリーンエネルギーの普及促進に向け、住宅用新・省エネルギー機器の設置に対する支援をしてまいります。

次に、ごみ処理につきましては、新ごみ処理施設の建設を目指していた埼玉中部資源循環組合が解散となりますが、引き続き「ごみ処理の広域化」を基本的な考え方とし、あらゆる可能性を検討・調整するための組織を新たに設置するとともに、ごみの更なる減量化に取り組んでまいります。

次に、防災対策につきましては、防災行政無線をデジタル化するとともに、災害用備蓄品を更新し、防災設備・物資の充実を図ってまいります。また、消防団につきましては、団員の確保及び女性団員の登用に努め、消防団の充実強化を図ってまいります。

次に、交通安全対策につきましては、坂田地区の桶川東小学校区周辺においてゾーン30事業を実施し、生活道路における歩行者や自転車の安全な通行を確保してまいります。また、市内循環バスにつきましては、「桶川市市内循環バス再編計画」に基づき見直されたルートでの試験運行を実施するなど、利用者のニーズにあわせた利便性の向上を図ってまいります。

次に、消費者行政につきましては、消費生活センターにおいて市民からの相談に応じて問題解決に向けた支援を行うほか、消費者安全確保地域協議会を運営するなど、行政と地域との連携による消費者の見守りを図ってまいります。

5 みどりと調和した暮らしやすい桶川をつくる

【みどり・都市基盤】

魅力ある中心市街地の形成や、圏央道をはじめとする広域幹線道路網等の交通利便性をいかした、活力あるまちづくりを推進するとともに、より安心して安全に暮らせる住環境の整備を行い、人にやさしい、みどり豊かで快適な、歩いて暮らせるまちづくりを進めてまいります。

はじめに、土地区画整理事業につきましては、坂田西特定土地区画整理組合の解散に向け、清算事務の進捗が図れるよう引き続き支援してまいります。また、下日出谷東特定土地区画整理組合につきましては、換地処分に向けて関係機関との調整を行うとともに、事業の進捗が図れるよう支援してまいります。さらに、上日出谷南特定土地区画整理組合につきましては、調整池の整備を進めるとともに、換地処分に向けて関係機関との調整を行い、事業の進捗が図れるよう支援してまいります。

次に、公共下水道事業につきましては、大字下日出谷字高井地区の管渠^{きよ}整備を実施するとともに、駅東口整備事業の進捗に合わせて駅東口の管渠^{きよ}整備を進めてまいります。また、引き続き持続的な下水道機能確保のため、公共下水道施設の適切な維持管理に努めてまいります。

次に、駅東口整備事業につきましては、市施行の駅東口駅前広場の詳細設計を行ってまいります。また、市道11-1号線・仲仙道線交差点付近の整備用地の取得を推進するとともに、ことぶき広場の活用につきましても検討を進めてまいります。さらに、駅自由通路改修事業につきましては、外壁や内装などの施設改修を引き続き実施し、年度内完了を目指してまいります。

次に、街路整備事業につきましては、坂田寿線第3工区の街路築造工事を実施し、年度内の整備完了を目指してまいります。

次に、市道の維持管理につきましては、道路の舗装修繕及び長寿命化修繕計画に基づく橋りょう修繕を実施するとともに、狭あい道路の整備を推進し、身近な生活道路の利便性や交通安全の向上に努

めてまいります。

次に、一級河川江川につきましては、早期改修を図るため、引き続き、国、県へ強く要望するとともに、現在、上流域で河川管理者の埼玉県が進めている調節池の整備事業に協力し、早期改修を目指してまいります。

次に、憩いの自然空間の保全と活用につきましては、「緑のまちづくり基本計画」に基づき、保存樹林・保存樹木の指定及び市民緑地の保全に努めてまいります。

次に、公園につきましては、利用される皆様が安心して憩い、集えるよう、既存公園施設の維持・保全及び改善に取り組んでまいります。

6 にぎわいと活力ある桶川をつくる 【産業】

地域の特性を生かした農業、商工業、観光事業をはじめとする産業の振興や、雇用の場の創出とともに、活力とにぎわいのある都市づくりを進めてまいります。

はじめに、企業誘致の推進につきましては、加納原地区において事業者が大型物流倉庫を年度内の完成を目指し建設中でございます。引き続き、操業開始に向けて支援をしてまいります。また、桶川北本IC周辺地区につきましては、交通利便性をいかした、産業誘致の実現に向け、地権者協議会や事業者と相互に協力してまいります。

次に、道の駅推進事業につきましては、整備事業者選定等支援委託を実施し、設計・工事・維持管理・運営を一括して行う事業者の選定を行うとともに、道路管理者である国と連携を図りながら事業を推進してまいります。

次に、旧熊谷陸軍飛行学校桶川分教場につきましては、復原整備された建物群が「桶川飛行学校平和祈念館」として、令和2年夏に開館いたします。

次に、農業の振興につきましては、地域として取り組む農地環境保全活動への支援などを行い、農業の活性化に努めるとともに、地

域の担い手の利用集積の一層の促進を図り、引き続き耕作放棄地の解消に努めてまいります。

次に、商工業の振興につきましては、空き店舗に新たに出店する事業者に対して補助を行い、引き続き空き店舗の利用促進及び活力ある商店街づくりを行ってまいります。

次に、観光の推進につきましては、観光ガイドブック「桶川じゃらん」や「観光PRポスター」、「英語版観光ガイドマップ」等を活用し、観光協会と連携しながら、本市のPRに努めてまいります。また、べに花等の花を活用したまちづくりを進める「べに花の郷づくり推進協議会」や「べに花生産組合」、「花でもてなすまちづくり実行委員会」への支援を引き続き行ってまいります。

7 計画的で将来を見据えた桶川をつくる

【行財政運営】

今後の行財政運営は、人口減少社会の進展に伴う市税収入の減少が予想される一方で、高齢化を背景とした社会保障経費や老朽化した公共施設の維持・更新に要する経費の増加に加え、新たな財政需要が生じるなど、歳出増は避けては通れない状況にあり、大変厳しい状況が続くことが想定されています。そのため、業務の効率化や歳入歳出両面の見直しを進めるとともに、行政課題に的確に対応できる人材の育成にも取り組みながら、計画的で将来を見据えた持続可能な行財政運営に努めてまいります。

はじめに、計画行政の推進につきましては、ライフスタイルや価値観が多様化し、人口減少と少子高齢化が進展する中、限りある行政資源の再配分と最適化が求められており、まちづくりと行政運営の方向性を示し、計画的に施策の推進を行う必要があるため、総合的な市政運営のための指針として、令和3年度を初年度とする次期総合振興計画を策定いたします。

また、より効率的で市民満足度の高い行政サービスを展開するため、時代に即した柔軟な行政組織体制の整備を図るとともに、働き

方改革推進の観点を踏まえ、会計年度任用職員制度導入による同一労働同一賃金の実現や人事制度と職員研修により、職員個々の意欲の向上及び業務の効率化に努めてまいります。

次に、情報共有の推進につきましては、開かれた市政の実現のため、市民の身近な情報源として、広報紙や公式ホームページの更なる充実を図り、より分かりやすい情報発信に努めてまいります。

以上、市政運営に関する基本的な考え方及び令和2年度予算案の概要を述べさせていただきましたが、令和2年度も「桶川市第五次総合振興計画」の将来都市像である「みんなでつくり育む活気あふれる交流拠点都市おけがわ」の実現に向け、夢と希望を未来へつなぐ持続可能なまちづくりに全力で取り組んでまいりますので、議員各位並びに市民の皆様におかれましては、市政に対します、より一層の御指導と御協力を賜りますようお願い申し上げます、私の施政方針といたします。